

CLAIR トピックス

——最近のクレアの動きを短くまとめて紹介します



シンガポール事務所

36 人の JET プログラム参加者の出発前オリエンテーションを開催！

7月10日、ジャパン・クリエイティブセンター（JCC）において新たに JET プログラムに参加する 36 人（ALT27 人、CIR 9 人）のための渡航前のオリエンテーションが開催されました。

オリエンテーションでは在シンガポール日本国大使館から ALT・CIR の業務内容や給与、住居といった日本での生活について説明が行われるとともに、ALT、CIR それぞれの先輩 JET 参加者から日本での体験談が語られました。また、新規 JET 参加者からは生徒のやる気をいかに引き出すかや、日本の冬と雪をどのように乗り切るかといった質問が盛んになされました。

例年、シンガポールの新規 JET 参加者は来日前に日本語講座で日本語を学び、ALT は日本人学校で日本人生徒に対する授業の様子を見学します。また、JETAA シンガポール支部の会員が新規 JET 参加者一人一人のメンターとなり、日本に旅立った後も相談に乗るなど、サポートを続けています。

新規 JET 参加者のサポートに大きな役割を果たしている JETAA シンガポール支部は 2009 年に設立され、今年で 10 周年を迎えます。同支部は新規 JET 参加者のサポート以外にも、大学における JET プログラムの広報への協力や浴衣ワークショップの開催、旅行博における自治体出展ブースの支援、ネットワーキングイベントの開催など、多岐にわたり日本とシンガポールを結ぶ懸け橋として活躍しています。

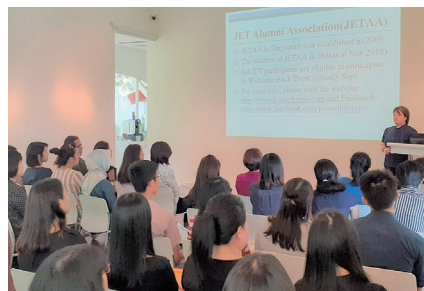
今年日本各地へ旅立った新規 JET 参加者も先輩 JET 参加者のように、日本滞在中のみならず帰国後も未永く日星友好交流の懸け橋となることが期待されます。



新規 JET 参加者と JETAA



先輩 JET 参加者の体験談に聞き入る新規 JET 参加者



先輩 JET 参加者による体験談



パリ事務所

ラグビーワールドカップ 2019 日本大会に向けて日本の自治体を PR！

ラグビーワールドカップ 2019 日本大会まで 100 日を切った 6 月 13 日、パリの日本大使公邸で大会広報レセプションが催され、日仏のラグビー関係者等が大会の成功を祈念しました。また、6 月 28 日から 30 日まで仏南西部トゥールーズ近郊のルナゲで、フランス最大規模のラグビーファンイベントである「Rugby No Limit」が「日本」をテーマに開催され、フランス全土から 1000 人超のラグビーファンが集結しました。さらに、7 月 4 日から 7 日までは、約 25 万人が訪れるパリの「Japan Expo」にも、ラグビースペースが特設されました。

クレアパリ事務所は、これらのイベントにブース出展し、観光パンフレットの配布や日本酒・泡盛の試飲により、開催地等の自治体 PR を行いました。多くの方がさまざまな地域のパンフレットを手に取り、その魅力を感じていました。大会観戦のために日本を訪問する方も多く、試合日程と各地のパンフレットを見比べて、試合の合間にどこに行こうか思案する姿も見られました。一方、兵庫県や熊本県など 11 の地域から提供された日本酒・泡盛の試飲も大好評で、多くの方が味わいや飲みやすさに驚いていました。

開催を間近に、フランスにおいても日本大会への機運は高まっています。大会を契機に、日本への興味、関心がさらに広がっていくことが期待されます。



ラグビーファンイベントで日本酒に手を伸ばす参加者たち @ Rugby No Limit



Japan Expo のクレアブースでくまモンが自治体 PR (© 2010 熊本県くまモン)



シドニー事務所

全豪地方自治体協会 2019 年次総会でクレアブース大盛況

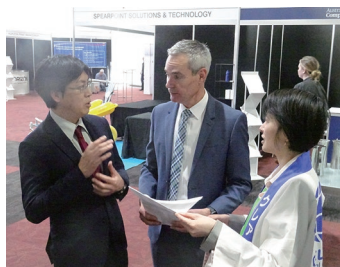
オーストラリアの地方自治体の首長や議員等が一堂に会する全豪地方自治体協会（ALGA）2019 年次総会が、6 月 16 日から 19 日まで、オーストラリアの首都キャンベラにおいて開催されました。

この総会では、連邦政府首相代理の副首相などの講演や、地方行政に係る諸課題に関する講演や意見交換、関係機関によるブース出展などが行われ、約 900 人もの参加者がオーストラリア各地から集いました。

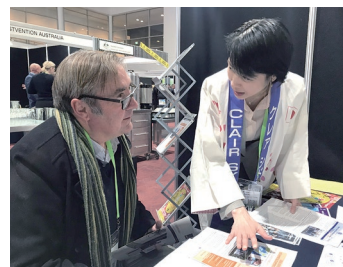
クレアシドニー事務所もブース出展し、直近の活動状況の説明、海外自治体幹部交流協力セミナーの周知、日本で今年から 3 年連続で開催される大規模国際スポーツ大会の PR や日本各地の観光情報の提供などを行い、多くの人で賑わいました。

また、海外自治体幹部交流協力セミナーへの参加経験者や日本の地方自治体と姉妹都市関係を有する地方自治体の首長や議員なども数多く詰めかけ、クレアシドニー事務所のオーストラリアにおけるネットワークをさらに強固にすることができました。

クレアシドニー事務所では、今後ともオーストラリアにおける地方行政の動向の把握に取り組み、地方自治体関係者との関係強化や日本各地への誘客を推進していきます。



全豪地方自治体協会会長と意見交換をするクレアシドニー事務所職員



クレアブースで PR するクレアシドニー事務所職員



ソウル事務所

料理体験を通じて日本の地方の魅力を発信！

6 月 22 日、クレアソウル事務所と日本最大の料理教室であり韓国でも人気の ABC Cooking Studio Korea との共催による「食を通じた地方へのインバウンド促進イベント」の第 15 弾（2016 年度開始時より通算回数）を、長崎県南島原市の料理をテーマに開催しました。

30 代を中心とする韓国人 28 人が参加し、韓国済州発祥のトレッキング済州オルレの姉妹版でも有名な九州オルレ「南島原市コース」や世界遺産「原城跡」をはじめとする南島原市の魅力や観光情報の紹介を受けた後、南島原市の特産品である「島原手延そうめん」を使用した「黒胡麻とトマトの香味和え」、「なつめと鶏肉の参鶏湯風そうめん」などの料理を体験しました。

参加者たちは、南島原市の地酒を試飲しながら自分で作った料理に舌鼓を打ち、「そうめんは弾力があり、とても美味しかった」、「南島原市の料理を現地でも食べてみたい」と、南島原市の魅力と料理を満喫した様子でした。

韓国メディアの取材やブロガーの参加もあり、当日の様子を拡散していただいています。



南島原市の紹介



島原手延そうめんを使用したメニューの調理体験



北京事務所

「2019 シルクロード沿線友好都市サミット」に参加しました

7 月 20 日に青海省西寧市で「2019 シルクロード沿線友好都市サミット」が開催されました。14 カ国の政府・地方政府関係者、企業などが招待され、クレア北京事務所も参加しました。

開催地である中国西部地区に位置する青海省西寧市は、中国からヨーロッパに通じるシルクロードの重要な拠点として古くから栄えてきましたが、近年は「一帯一路」構想を受けて、高速鉄道や道路などのインフラ整備や都市開発が急速に進められ、目覚ましい経済成長を続けている都市です。その一方で、市全体で植樹活動に取り組むなど、経済発展のみならず環境保護にも力を入れています。

サミットでは、経済発展と環境保全（グリーン発展）の両立を主題に、各機関による発表が行われ、当事務所からは、日本のゴミ分別の現状や、ゴミ処理に対する住民意識などについて紹介しました。発表後のパネルディスカッションでは、他国の代表から日本のゴミ処理についてより深く学びたいとの意見をいただくなど、高い関心を集めました。

当事務所では、今後も日本の都市での取組事例や情報を発信することで、交流の機会を創出し、日中間の地方自治体・地方政府における交流活動の支援に一層注力してまいります。



サミットの様子



スピーチを行う宮本北京事務所長



ロンドン事務所

英国最大級の日本文化イベント「HYPER JAPAN」で地域の魅力を PR

7月12日～14日の3日間、ロンドン西部のイベント施設 Olympia にて英国最大級の日本文化イベント「HYPER JAPAN Festival 2019」が開催されました。日本食や伝統文化からゲーム、アニメ、ファッションなどのポップカルチャーに至るまで幅広く紹介する本イベントは今回で15回目を迎え、約300もの企業・団体・個人が出展し、約8万人が来場しました。

ロンドン事務所では、各自治体提供のパンフレットやポスター、プロモーション映像を活用し、日本の地域をPRするとともに、訪日旅行についてのアンケートを実施しました。(アンケート結果はロンドン事務所ホームページをご覧ください。
https://www.jlhc.org.uk/jp/economy_exchange/hj2019/)

日本のポップカルチャーには慣れ親しんでいるが一度も日本へ旅行したことがないという方や、過去に何度も日本を訪れており、まだ行ったことのないエリアの情報を集めに来たという方など、さまざまな来場者でクレープは賑わいました。また、サイクリングなどアクティビティに関する質問や、ベジタリアン向けの食事に関する質問が多く寄せられました。



ブースを訪れる来場者



来場者で賑わう会場



ニューヨーク事務所

広島市とホノルル市の姉妹都市交流 60 周年

2019年に広島市とホノルル市の姉妹都市交流が60周年の節目を迎えるにあたり、松井一實（かずみ）広島市長、山田春男広島市議会議長を含む代表団一行がホノルル市を訪問し、当事務所職員も現地での活動を支援しました。7月2日には、両市の友好関係を再確認する署名式がホノルル市議会議事堂で執り行われたほか、友好の絆と平和の心を共有する象徴として広島市から被爆樹木二世のムクノギが贈られ、ホノルル市内にあるフォスター植物園で記念の植樹式が行われました。



植樹式での松井市長とコールドウェル市長

NY から新規 JET 参加者が日本へ出発

6月22日にニューヨークにて、今夏から日本の各自治体へ配属されるJETプログラム新規参加者を対象とした出発前オリエンテーションが開催され、52人が参加しました。JETAA ニューヨーク支部のメンバーが講師として、自身の経験を元に来日直後の生活の立ち上げや地方都市での暮らし、学校現場の様子について、写真を交えて参加者に向けて説明・アドバイスをしました。7月26日には出発前レセプションが開催され、77人が参加し、総領事の激励を受けて日本へ向けて出発しました。



講師の話真剣に聞く新規 JET 参加者



経済交流課

第2回海外経済セミナー「サイクルツーリズム」を開催します！

2019年度第2回海外経済セミナーを開催します。

今年度2回目のセミナーは、「サイクルツーリズム」をテーマに、インバウンド誘客に成功した先進事例の紹介や、自治体や民間団体等、さまざまな立場の方をお迎えし、パネルディスカッションを行います。

サイクルツーリズムやインバウンドの第一線でご活躍されている皆様にご登壇いただきます。奮ってご参加ください！

・日 時：2019年9月25日（水）13:00～17:00（予定）

・場 所：都道府県会館402会議室（定員80人程度）

※講演内容等について、詳しくはHPをご覧ください。

<http://economy.clair.or.jp/activity/seminar/>

■お問い合わせ 交流支援部 経済交流課

Tel：03-5213-1726 Mail：keishin@clair.or.jp



2019年度第1回海外経済セミナー（大阪開催）の様子

多文化共生課

第2回多文化共生先進取組事例「体験塾」in 岡山を開催します！

「災害時の外国人支援」をテーマに1泊2日の「体験塾」を開催します。
平成30年7月豪雨で被災した岡山の当時の状況や災害時の外国人支援における先進的な取り組みについての講義や実地研修、ワークショップを行います。

- ・日 時：2019年11月21日（木）・22日（金）
- ・場 所：倉敷市真備支所・総社市図書館・日本語学校・岡山国際交流センター（岡山駅集合）
- ・対 象：地域国際化協会、市区町村国際交流協会、自治体の職員（定員20人程度）
- ・申込期間：10月1日（火）～10月18日（金）
- お問い合わせ 多文化共生課
Tel：03-5213-1725 Mail：tabunka@clair.or.jp



平成30年7月豪雨 総社市内の様子

JET プログラム事業部

JET プログラム参加者を対象に日本語講座を開講しています！

JET プログラム参加者の日本語能力向上のため、オンラインの日本語講座を開講しています。日本語能力は、職場や日常生活において意思の疎通を図るために、非常に重要です。本講座は、JET プログラム参加者へ、無料で提供しています。

本講座では、JET プログラム参加者個々人の日本語能力に応じた3コースを用意しています。どのコースを受講すれば良いかわからない場合は、コースを選択する前に、プレースメントテストで日本語能力を調べ、適したコースを選択していただくことができます。また、受講後のテストで一定の得点をとると、修了証書を受け取ることができます。

JET プログラム参加者の皆様は、日本で仕事や生活をより充実させるため、ぜひ講座を受講してください。任用団体のご担当者様は、JET プログラム参加者へ受講をおすすめいただきますようお願いいたします。

日本語講座各コースの内容

コース	初級コース	中級コース	上級コース
受講後 到達レベル	日本語能力検定N5	日本語能力検定N4	日本語能力検定N3
内容	ひらがな、カタカナが読める人のためのコース	ひらがな、カタカナ、基本的な漢字で書かれた簡単な単語や文章の読み書きができ、日常生活の中でも身近な場面でよく使われる短い文章で会話ができる人のためのコース	基本的な漢字で書かれた単語や文章の読み書きができ、日常的な会話ができる人のためのコース

交流親善課

第7回日仏自治体交流会議 日本側推進委員会を開催！

2020年にエクサンプロヴァンス市で開催が予定されている第7回日仏自治体交流会議に向けて、日本側推進委員会を6月12日に開催しました。

日仏自治体交流会議は、日仏両国の自治体が一堂に会し、両国の自治体が抱える共通の行政課題や先進施策等について発表・議論することで両国の地方自治の発展に寄与することを目的に開催されており、2008年にフランスのナンシー市で初めて開催されて以来、両国で相互に開催しています。

今回、第7回会議のキックオフとして、フランスと姉妹都市等の関係がある自治体や、今後新たにフランスとの交流を希望する日本各地の12自治体が出席し、第7回会議の内容をはじめ、国内の自治体などへの周知や参加への働きかけを行うこと、また、フランス側関係団体と密接に連携していくことなどを確認しました。

日仏自治体交流会議は、初めて参加される自治体も大歓迎です。ぜひ、次回エクサンプロヴァンス市で開催される会議への参加をご検討ください。



日本側推進委員会委員長に選出された大西熊本市長によるご挨拶



第7回日仏自治体交流会議開催地のエクサンプロヴァンス市